

コロナでキャンセル・・・家族ドライブ

2020/05/04

今村 洋一

我家は、毎年冬と春の2回、4泊5日くらいの予定で日本の各地をドライブしています。長女が病弱なため、電車や飛行機での計画的旅行は難しく、体調や天気にあわせて日程や行先を自由に変えられる「車」での旅を選んでいきます。

高速道路が整備されたこと、車の性能がよくなったことで、ドライブ旅行は画期的に快適・安全になりました。4人乗ることから車はやや大きなSUVを使い、冬は必ずスタットレスタイヤをはきます。娘を中心に運転手が3人いますので遠出は苦になりません。盆正月や連休を少しずらすこと、早朝2時ごろ出発することで、混雑を避け、同時に高速通行料の割引を最大限使います。昨年5月に五島列島へ行きましたが、入間インターから博多港（フェリー乗り場）まで高速代は9900円。1人2500円ですみました。服装や靴は全くの普段用、食事はパーキングや地元の街食堂が主となります。定年後今までに九州、四国、から能登半島、東北などを走りましたが、大山（鳥取）、白神山地（岩手）、大塚国際美術館（徳島）などが特に印象的でした。

この5月に80歳前の最終ドライブとして北海道一周を計画し、2月に安いホテルを早割り予約していました。大洗から苫小牧間のフェリーの個室予約は難関で、やっと4人部屋を押さえられ楽しみにしていましたが、思いもかけなかったコロナ騒ぎから「出るな！」「来ないで！」で全てキャンセルとなりました。

いつも「るるぶ」という雑誌で、目的地や寄りたい所を車中で適当に決めます。有名観光地だけでなく、地方の山や海の景色を車中から見ながら走るだけでも新鮮です。プラタモリなどの番組をみて、「ここ行った！」と子供たちが話しているのを聞き、満足しています。高級ホテルやレストランはほとんど使わない安い旅です。



五島列島で3泊したロッジ（上写真）とそのロッジ前の砂浜（下写真）





大塚国際美術館（徳島）内にて